



かっせんはら100 ほんち



＜宮城病院基本理念＞良い医療を安全に、心を込めて

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。令和5年になりましたが、COVID-19 感染は一向に収まる気配がありません。当院では令和4年3月末からコロナ病棟を開設しました。地域包括ケア病棟の病床を利用しての開始ですので、地域包括ケア病棟自体は現在も休止しています。これにより、急性期治療を受けた後にリハビリテーションが必要な患者様や脱水症などで短期間の入院が必要な患者様にはご迷惑おかけいたしました。今年はCOVID-19感染の波が早期に収束し地域包括ケア病棟を再開できることを期待しています。

本年も皆様方の貴重なご意見を賜りながら、より良い地域医療連携を構築できればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

令和5年1月

国立病院機構宮城病院 地域医療連携室長 安藤肇史



医療と看護・介護の多職種連携研修 オンライン開催中！！

コロナ禍ということもあり、昨年度末から「医療と看護・介護連携研修」を動画配信で開催しています。

第10回は「誤嚥予防」をテーマに、①食事のポジショニングについて②食事介助方法について③食事介助時の観察の視点④宮城病院の食事形態について、摂食嚥下障害認定看護師と栄養管理室長からお話しさせていただきました。65名の視聴申し込みがあり、多くの施設、職種の方にご参加いただきました。アンケートでは、「参考になった」「好きな時間・場所で見ることができる」「繰り返し見ることができる」など、内容だけではなく、動画配信についても好評をいただきました。しかし、「実際を見たい」「お互いの意見交換をしたい」という集合研修を希望するご意見もありました。感染状況次第とはなりますが、開催方法を検討していきたいと考えています。

ギャッチアップ時の頭部の位置の違い



摂食嚥下障害を疑う症状とは

◎食事時の摂食嚥下障害の徴候

- ・むせる（むせない誤嚥もあるため注意！）
- ・嚥下後にガラガラ声が出る
- ・食事中にSpO2が急激に低下する
- ・食後に痰が増える
- ・食物の認知が悪い、集中しない、早食い
- ・嚥下後に食物が口の中に残っている
- ・皿の中の残食の位置が偏っている
- ・食事中に鼻汁が増える



☆当院で提供している食形態＜行事食：元旦＞

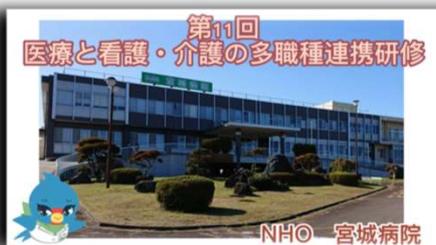


現在、第11回「コロナ病棟で働くスタッフに聞いてみよう～おうち・施設で応用できるお話～」を配信しています。感染管理認定看護師が中心となり、コロナ病棟の紹介・スタッフのお話、在宅での注意点をあげています。2月10日まで配信期間を延長いたしました。限定配信となっておりますので、視聴を希望される方は、以下のQRコードからお申し込みください。今後「認知症の早期発見」のテーマでも開催を予定しています。日程等は後日お知らせいたします。ぜひご参加ください。

第11回視聴申込用フォームURL

<https://forms.gle/QJ4hSnpvL6Zpo5ex6>

第11回視聴申込用QRコード



もし同居の家族が感染したら!?
おうちでできる感染対策

編集後記

かっせんはら100ばんちをご覧の皆様、あけましておめでとうございます。2023年は兎年ということで、個人的には何事にも飛躍してレベルアップしていく年していきたいと思います！
今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

編集者 K

宮城病院
公式Instagram



各部署の紹介や
様々なお知らせを
しています！
フォローしてみてくださいね！



【発行・編集】
独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室

〒989-2202

亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL (0223) 37-1131 (代表)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>